

**致命的なコロナウイルスの4例が検出された。**3月1日(日曜日)、クルディスタン自治政府の保健省は、最近イランから帰国した4人が新種コロナウイルスに陽性反応を示したと述べた。彼らは現在検疫下にあり、新種ウイルスで人々を治療することに専念する特別な病院に入院している。

**政府機関は労働時間を削減する。**3月1日(日曜日)、記者会見でレバール・アーメド内務大臣は、明日(月)から、アサイシ、警察、ペシュマルガ、医療従事者を除くすべての政府機関は、もはや午後1時まで働く必要はないと述べた。

KRGのほとんどの政府機関は平日の午前8時から午後1時まで働いている。しかし、新種コロナウイルスの拡散の恐れのために、政府はウイルスの拡散を遅くしようとして学校と公共の場所を閉鎖し始めた。



**ヨルダンへの訪問。**3月1日(日)、マスールル・バルザーニはクルディスタン自治政府の首相がヨルダンに到着し、アブドラ国王に歓迎されました。首相はKRGの高官を伴いアブドラ国王に招待され、貿易と経済、地域の平和と安定について議論する会合が数多く行われる予定である。

**新たに指名されたイラク首相が辞任した。**3月2日月曜日、モハメド・タウフィック・アラウィは、改革計画は多くの当事者に歓迎されていないと主張して辞表を提出した。アラウィは、数ヶ月の抗議の後、現在のイラク大統領ベルハム・サリフによって選ばれ、当時のアディル・アブドゥル・マフディ首相の辞任につながった。独立派のアラウィは、汚職と戦い、政治公約を守るため政府に立ち向かった経験を持っている。しかし、辞表の中で、彼は当事者との交渉中に、彼は何をすべきかではなく、党が何を望んでいるかを聞いてショックを受けたと主張している。このプロセスのもう一つの固執点は、クルド人とスンニ派からの支援の欠如だった。クルド人は、アラウィは大臣を自ら選びたいと主張したが、クルド側とスンニ派は、大臣のを選びたいと考えていた。アラウィとクルド人の間のもう一つの固執点は、彼の

改革計画のなかで、アラウイが「KRGの石油問題を解決する」。事に言及しなかったのだった。

トルコはシリア政府に対する攻撃を正式に開始する。3月1日(日曜日)、トルコはシリア政権軍に対する反撃を開始すると述べた。この攻撃は、その兵士の30人以上が攻撃で殺された後、トルコからの警告の数日後に来ます。長年にわたりシリア政権を支援してきたロシアは、シリア上空を飛行するトルコ機の安全を保証しないと述べた。トルコの一部は、この攻撃はロシアではなく政権に対する攻撃であると述べている。エルドアンとプーチンは木曜日にモスクワで会談し、両国間の緊張の高まりについて話し合う。

